

2007年のコンピュータウイルス届出状況

独立行政法人 情報処理推進機構(略称:IPA 理事長:藤原 武平太)は、2007年1~12月のコンピュータウイルス届出状況をまとめました。

1. 届出件数

2007年の年間届出件数は34,334件と、前年(2006年)の44,840件から大幅な減少となり、2005年をピークに、減少傾向にあります。大規模な感染拡大を引き起こす大量メール配信型のウイルスが出現していないことから、届出件数が減少しているものと推測されます。

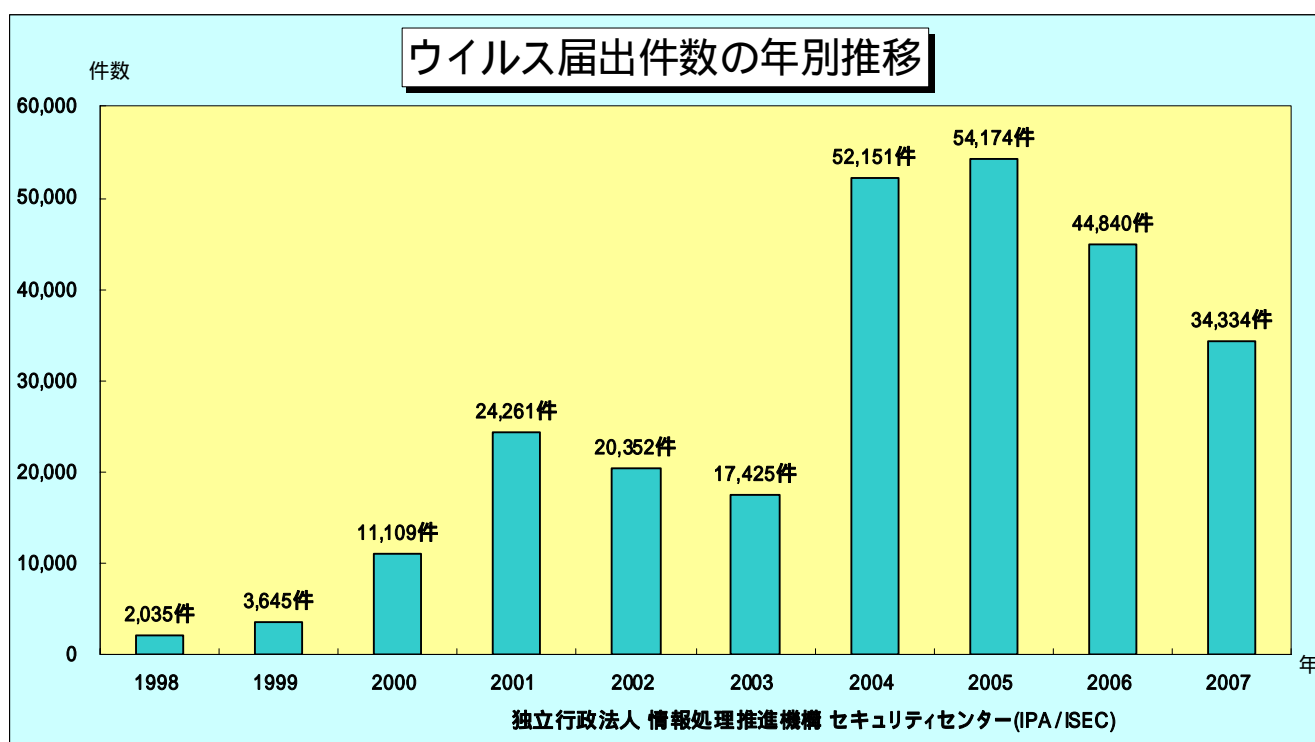


図 1-1 : ウイルス届出件数の年別推移

図 1-2 に示すとおり、実際にパソコンに感染した(実害があった)ケースも減少傾向にあり、2007年は、2006年と同じく0.2%となりました。感染する前に、セキュリティ対策ソフトで検知するという、基本の対策が浸透している状況が伺えます。

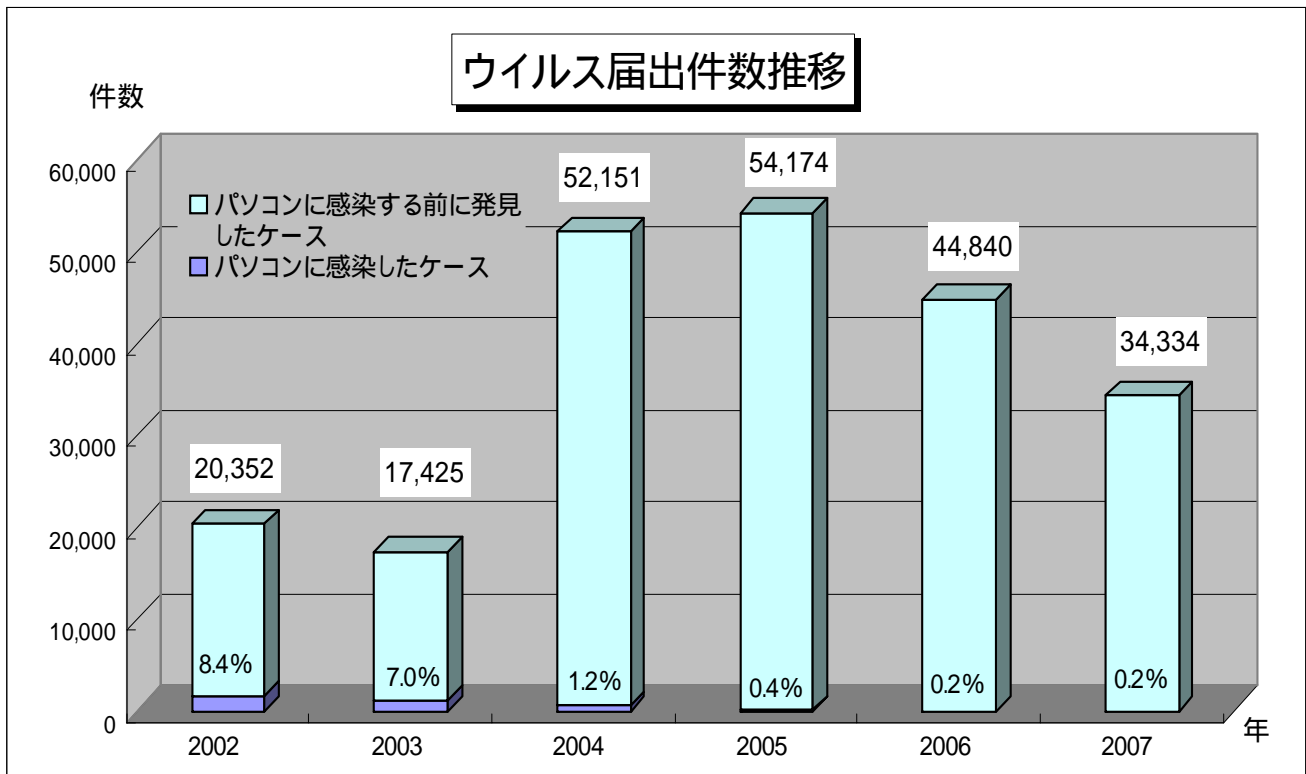


図 1-2 : ウイルス届出件数推移 (実被害の割合含む)

2.届出ウイルス

届出されたウイルスは 166 種類(2006 年 156 種類)で、そのうち 2007 年に初めて届出されたウイルスは 46 種類(2006 年 29 種類)でした。新たに届出されたウイルスは増加しましたが、感染が大きく拡大したウイルスはなく、届出件数の上位は 2006 年と同じ傾向でした。

届出ウイルスのうち、検出数の多い順は上から、W32/Netsky、W32/Stration、W32/Mytob となっています。

W32/Netsky は、2004 年 2 月に初めて届出のあったウイルスですが、2004 年以降、毎年、最も多くの届出が寄せられています。

ウイルス名称	検出数	届出件数
W32/Netsky	5,566,319	7,352
W32/Stration	236,768	1,879
W32/Mytob	234,695	2,662
W32/Nuwar	204,122	583
W32/Sober	159,171	74
W32/Looked	155,860	374
W32/Sality	148,575	2,098
W32/Bagle	105,750	2,960
W32/Mydoom	62,627	2,242
W32/Mywife	43,712	1,713
その他のウイルス	223,780	12,397
合計	7,141,379	34,334

備考：件数には亜種の届出を含む

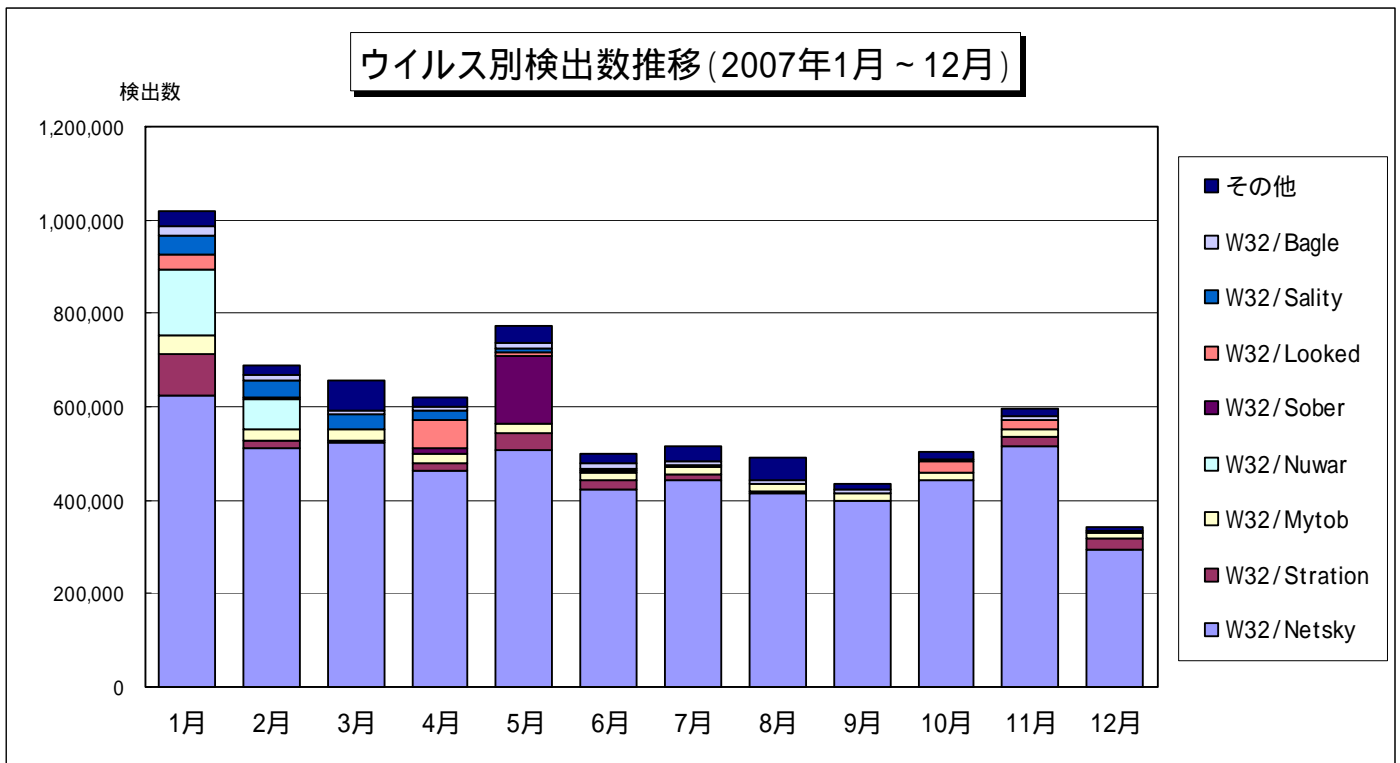


図 2-1 : ウィルス別検出数の推移

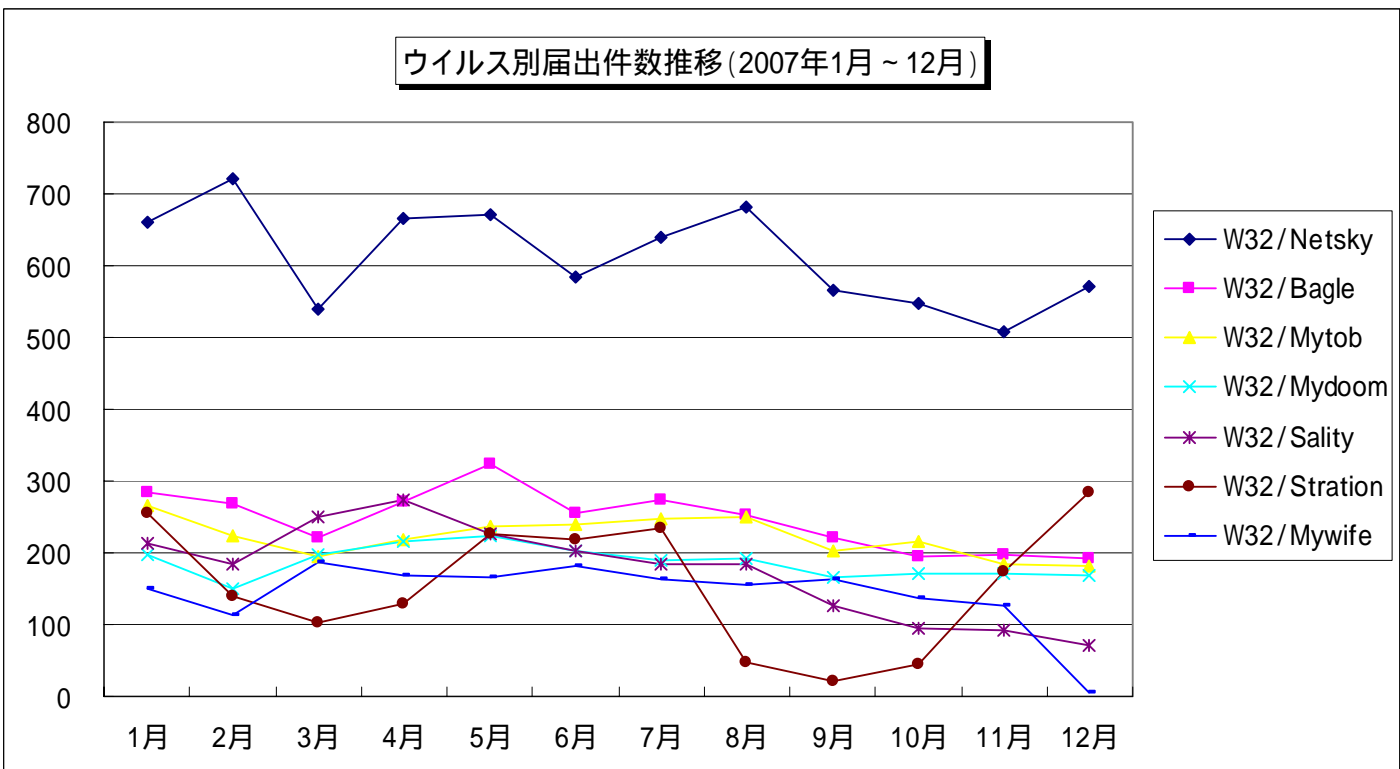


図 2-2 : ウィルス別届出件数の推移

お問い合わせ先
 独立行政法人 情報処理推進機構 セキュリティセンター
 花村 / 加賀谷 / 宮本
 Tel:03-5978-7527 Fax:03-5978-7518 E-mail:isec-info@ipa.go.jp